

第36回日本気象学会九州支部発表会 プログラム				開催日:3月7日(土), 開催場所:宝山ホール2階第3会議室	開始時刻	配分時間
開会の挨拶					10:30	0:05
セッションⅠ	1	中野 優子	九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻	黒潮続流域で急激に強まる最大クラスの爆弾低気圧の発生・発達要因	10:35	0:15
	2	平田 英隆	九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻	黒潮続流域の海面水温偏差が爆弾低気圧へ与える影響	10:50	0:15
	3	河田 雅生	九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻	下層風鉛直シア環境場における発達期スコールラインの構造変化	11:05	0:15
	4	後藤 貴士	福岡管区気象台気象防災部予報課	2014年8月22日の福岡県の大雨について	11:20	0:15
	5	宮田 和孝	名瀬測候所技術課	奄美地方で観測される副振動について	11:35	0:15
昼食休憩					11:50	1:10
支部奨励賞贈呈式					13:00	0:05
特別講演		大河内康正	熊本高等専門学校建築社会デザイン工学科	地域気象の解明を目指して — 気象の研究を振り返って —	13:05	0:40
休憩 (5分)					13:45	0:05
セッションⅡ	6	下瀬 健一	防災科学技術研究所/産業技術総合研究所	太陽光発電予測に向けたエアロゾルが日射予測に及ぼす影響の調査	13:50	0:15
	7	久田由紀子	九州大学大学院総合理工学研究院 流体環境理工学部門	福岡都市圏におけるspmの日変動	14:05	0:15
	8	鶴野伊津志	九州大学応用力学研究所 地球環境力学部門	2014年5月下旬に1週間継続した黄砂と高濃度大気汚染現象	14:20	0:15
休憩 (10分)					14:35	0:10
セッションⅢ	9	太田 智大	九州大学理学部地球惑星科学科	南極オゾンホールを経年変化が大気大循環に与える影響について	14:45	0:15
	10	佐藤令於奈	福岡大学理学部地球圏科学科	冬季における気温の平年値にみられる季節内変化	15:00	0:15
	11	鳥羽瀬世宇	九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻	夏季北極海周辺の低気圧活動の変動とその要因	15:15	0:15
	12	幸田 純子	九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻	自己組織化マップを用いた北半球夏季季節内変動に関する研究	15:30	0:15
休憩 (10分)					15:45	0:10
セッションⅣ	13	江藤翔太郎	鹿児島大学理学部物理科学科	KSAT-2の13GHz電波を用いた大気揺らぎの観測	15:55	0:15
	14	秀島 拓弥	山口大学大学院理工学研究科機械工学専攻	紫外線域を利用した雲スクリーニング手法開発の基礎的研究	16:10	0:15
	15	志比田洋平	山口大学大学院理工学研究科機械工学専攻	受動型光学センサーによる薄い巻雲の検知方法に関する研究	16:25	0:15
	16	鈴木 賢士	山口大学農学部生物資源環境科学科	GPM/DPR地上検証のための山形蔵王における融解層内の降水粒子直接観測	16:40	0:15
	17	西 憲敬	福岡大学理学部地球圏科学科	静止衛星赤外データによる雲頂高度気候データセットの作製	16:55	0:15
閉会の挨拶					17:10	0:05
終了					17:15	

※各講演者(特別講演を除く)の持ち時間は15分間(講演時間12分、質疑応答3分)です